

事務事業チェックシート

事務事業No 44 事業名 鉄道活性化事業（JR紀勢本線・JR和歌山線）

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	2	公共交通体系の充実
施策	1	公共交通体系の充実
基本方針	1	公共交通機関の利用促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		交通政策費	
	大事業		交通政策事業	
事項		鉄道活性化事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	交通政策課	山路 都子 (435-1016)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束	公共交通の充実（鉄道・バスなど公共交通機関の連携強化）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	JR和歌山線及びJR紀勢本線をはじめとした鉄道路線の活性化に向け、利便性向上や利用促進を図る。	JR紀勢本線活性化促進協議会、和歌山線活性化検討委員会等の総会、幹事会への参加、要望活動、啓発活動により、各線の利用促進を図る。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動 和歌山駅における貴志川線機能向上の検討	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	305	323	3,653	3,672	315		315		315		
	伸び率 (%)	-	-	1097.7%		-91.4%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,858	2,772	2,772	3,215	3,215		3,215		3,215	
		非常勤職員										
		小計	1,858	2,772	2,772	3,215	3,215		3,215		3,215	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源（税等）	305	323	3,653	3,672	315		315		315		
	所要人数	常勤職員	0.50	0.36	0.36	0.43	0.43		0.43		0.43	
非常勤職員												
主な予算内訳	負担金270千円 等											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	JR紀勢本線活性化促進協議会（総会、幹事会）への参加					年度目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3	3			
	単位	回	全体目標値	3	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
	JR和歌山線活性化検討委員会（総会、幹事会）への参加					年度目標値	4	4	3	3	3
						実績値	4	4			
成果指標	年間輸送人員（紀勢本線）					年度目標値	8,861,240	8,861,240	8,861,240	8,861,240	8,861,240
						実績値	9,062,585	8,876,800			
	単位	人	全体目標値	8,861,240	全体目標達成度	100.2%	102.3%	100.2%			
	年間輸送人員（和歌山線）					年度目標値	564,403	564,403	564,403	564,403	564,403
						実績値	584,365	566,115			
	単位	人	全体目標値	564,403	全体目標達成度	100.3%	103.5%	100.3%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	JR紀勢本線、JR和歌山線等の市内鉄道路線は、市民の通勤・通学あるいは、通院やレジャーなどあらゆる目的に必要な移動手段であり、また、市外の都市を結ぶ広域的な路線であるため、利用者の減少によるサービスの低下等に陥らないよう利用を促していく必要がある。
「見直し」 「改善」案	JR和歌山線活性化検討委員会では、鉄道の利用促進を図ることを目的に、絵画展示事業や駅舎ペインティング事業等に取り組んでいるが、その参加者数を増加させるために、参加賞の見直しや応募対象の範囲拡大に取り組む予定である。また、ホームページの更新やQRコードの利用等、インターネットサービスの拡充も図る予定である。